

平成23年度AO入試の変更点について ～新設：D型（科学オリンピック型）募集2名～

生物生産学部では、平成23年度入試（平成22年10月）から科学オリンピックの1つ、国際生物学オリンピック日本代表選考（生物チャレンジ）において、成績優秀者を対象にした新たなAO入試（D型）を導入しました。

	募集人員	出願資格	選考方法	選抜日程
D型 (科学オリンピック型)	2名	国際生物学オリンピック日本代表選考（生物チャレンジ）の「 第一次試験 」で上位 10% の成績を修めた者。	【第一次選考】 出願書類 【第二次選考】 面接のみ 【最終合格】 センター試験 390点以上の者。 （ただし、センター試験利用教科・科目は以下の表を参照のこと）	A型、B型、C型と同じ日程で実施（出願は10月、第2次選考は11月下旬）。

晴天に恵まれて暑い一日でした。



D型新設に伴い、AO入試の募集定員は、A型2名、B型2名、C型9名に変更になります。

平成23年度大学入試センター試験

教科	配点	科目名
数学	100	数Ⅰ・数A を1
	100	数Ⅱ・数B, 工, 簿, 情報 から1
理科	200	物, 化, 生, 地学 から2
外国語	200	英, 独, 仏, 中, 韓 から1
計	600	3教科5科目・・・390点以上



←平成21年8月に広島大学で行われた「生物チャレンジ第二次試験」。広島大学では、筑波大学と隔年で二次試験を実施しています（次回は、平成23年夏）。

平成21年8月に広島大学で行われた「生物チャレンジ第二次試験」。広島大学では、筑波大学と隔年で二次試験を実施しています(次回は、平成23年)。



2009.7.19 第一次試験を各地で実施

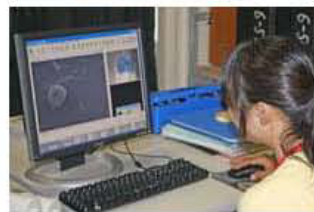
2009.8.17~20 第二次試験を
広島大学で実施

平成21年8月17日(月)から20日(木)までの4日間、広島大学で開催された「国際生物学オリンピック」の予選大会である「生物チャレンジ2009 第二次試験」のイベント「最先端研究体験」の一環として、参加者73名中14名が、19日(水)に生物生産学部・生物圏科学研究科を訪れ、研究室紹介および体験実習に参加しました。

生物生産学部・生物圏科学研究科では、6つの研究室においてミクロからマクロ、さらに応用までの分野で、AグループとBグループの2つのグループに分かれ、それぞれ7名の参加者と、13時から17時過ぎまで実験、実習、体験、講義、議論を楽しみました。

<Aグループ>

動物資源化学研究室(応用生物学): 田辺 創一 准教授 (写真上段右)
家畜育種遺伝学研究室(ミクロ生物学): 西堀 正英 准教授 (写真上段中央・左)
海洋生態系評価論研究室(マクロ生物学): 小池 一彦 准教授 (写真下段)



平成23年度入試
(平成22年10月出願)より、2000名を超える【生物チャレンジ】の受験者の中から、その成績が上位の10%を修めた者は、AO入試(D型)での受験ができます。

君の一步は、
2010年生物
チャレンジを
受験すること
から始まる！

<Bグループ>

分子栄養学研究室(応用生物学): 矢中 規之 准教授 (写真左・中央)
水圏資源生物学研究室(マクロ生物学): 坂井 陽一 准教授 (写真右)
免疫生物学研究室(ミクロ生物学): 堀内 浩幸 助教 (広島県産業科学技術研究所にて実験実習)



参加者のアンケートにより、非常に楽しかった」「遺伝子でお酒に強いのか？がわかるほかにどのようなことがわかるのか」「もっと長い時間をかけて研究室を巡ってみたいかった」などの感想がありました。短い時間でしたが、参加者のみなさんにはまた研究室をじっくり訪問してください。対応いただいた先生の連携により充実した「最先端研究体験」ができたものと実施者の一人として感じました。

生物チャレンジは、<http://www.jbo-info.jp/Challenge.html>

2009年度の様子は、<http://www.bio-challenge2009.hiroshima-u.ac.jp/Welcome.html>

生物生産学部AO入試は、<http://www.hiroshima-u.ac.jp/seisei/>